

件名	第17回 筑西市学校の在り方検討委員会 について		
日時	令和4年6月21日（火） 午後6時30分～7時50分	場所	スピカ6階 コミュニティプラザ
相手方	筑西市学校の在り方検討委員会委員及び 当委員会アドバイザー 南教授 別紙のとおり（欠席7名） オブザーバー（財務部）：山口部長、吉水次長、 坂谷管財課長、小野塚係長	出席者 （対応者）	小室教育長、鈴木教育部長、島村次長、 入山次長、根本学務課長、成川施設整備課長、池田参事兼指導課長、市塚義務教育学校整備推進課長及び課員（市村、大木、柴山、長尾、山田）
1. あいさつ 小室教育長 2. 説明 委員会の目的及び経過について【資料1】 3. 委員長相互及び副委員長指名 委員長：爲我井 茂（筑西市自治会連合会会長） 副委員長：氏家 真理子（筑西市立下館小学校長） 4. 議事 （1）明野中学校区及び下館北中学校区の取組について →事務局の報告を承認 ①明野中学校区の取組について【資料2】 ②下館北中学校区の取組について【資料3】 ・明野地区準備委員会委員長鈴木親男氏よりあいさつ ・下館北中・下館中統合準備会会長、下館北中学校長角田真弓氏よりあいさつ 【質疑】 ・明野五葉学園の制服についてお伺いしたい。全国的にも制服が話題になっており、費用、販売方法、女子のスラックスの選択だけでなく、男女共用というところまでジェンダーフリーが聞こえてきている。今回の資料には『詰襟とセーラー服から変更するという方向で検討を進める』とあるが、方向性が現時点でどういうことかわかればお聞かせ願いたい。 ⇒先日の保護者アンケートによると、賛成+どちらかという賛成が6割、どちらかという反対+反対が4割という結果であった。反対意見の多くが、セーラー服を残したいということであったが、セーラー服には温度調整しにくいことや、LGBTQ への対応がしにくい等の課題もある。次の制服を検討部会において、制服メーカー数社からサンプルを預かり、実際に見て触れていた予定である。また、男女共用の制服ということに関しても、お姉ちゃんが着用していた制服を弟が着用できるように、ボタンも右上左上が簡単に付け替えられるようなものもあるので、制服を変更することが決定した場合には、慎重に検討を進めてまいりたい。 （2）今後の取組について【資料4】 →事務局からの提案（アンケート実施）を承認 【質疑】 ・アンケートの中身について、明野地区の現在までの経過についてや、北中と下中の統合に向けての検討の中で起きた問題など、一般的な内容だけでなく具体的な問題も記載して保護者のみなさんにお知らせするのも良いのではないかと。 ⇒配布予定の資料には建築年数に関する課題は記載しているが、具体的な課題等の記載についても検討してまいりたい。 ⇒まずはアンケートを実施し、そのうえで筑西市の学校の在り方について教育委員会から諮問			

があるとのことですので、委員の皆様においては、各学校での情報共有をお願いしたい。
次に、アドバイザーである南教授からお話をいただきたい。

・東洋大学客員教授南教授より

コロナ禍において、学校は、教育だけでなく保育の機能を果たしていたことが明確になった。
また、オンラインの教育が急速に普及し大きく変わった。今後 10 年 20 年のうちに日本の教育は大きく変わっていくであろう。明野五葉学園の開設までも 5 年以上の年月を要している。あつという間に時は過ぎてしまうため、子どもが激減するであろう 20 年後を見据えて考えていくべき。

5. その他

【質疑】

・北中・下中統合準備会の中で学校跡地の利活用について話題になった。1 年後には北中が無くなるが、校舎はどうなるのかを今日でなくても良いので地域に情報を発信していただきたい。また一般的には学校跡地はどのように利活用されているのか教えていただきたい。

⇒学校の跡地については、令和 4 年 1 月 28 日に学校の跡地利活用検討委員会が組織され、ワーキングチームなどにより調査検討を行っている。現時点では、市の施設として残す学校施設を決定し、残さない施設であれば、公共団体や民間団体での活用など、検討を進めているところである。今後、地元への説明も検討しているため、ご理解いただきたい。

・20～30 年後に老朽化を迎える学校施設が多いが、アンケートを実施したうえで、次の義務教育学校の設置検討について、協議を進めていきたい。また、次の候補地が決まってからも地域や保護者の皆様の合意形成が必要になるため、ご協力をお願いしたい。

6. 閉会

以上